

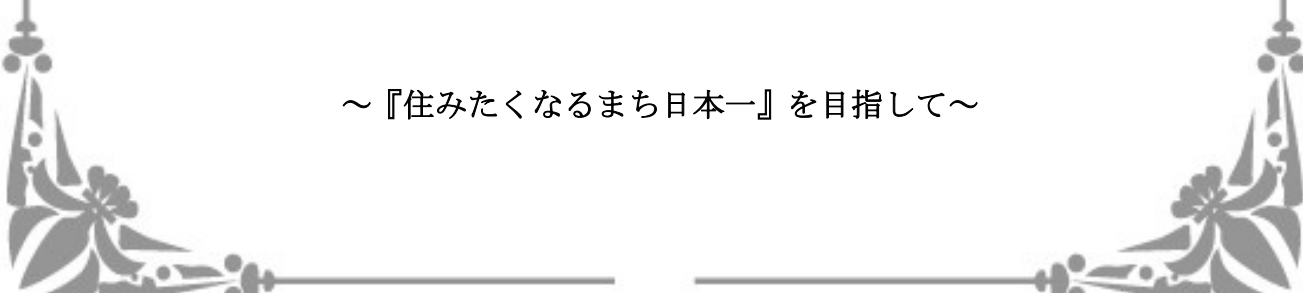
令和元年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和元年12月3日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



1. はじめに

本日ここに、令和元年第 4 回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明を申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、先日発生した令和元年台風 19 号による豪雨災害について、ご報告申し上げます。

台風 19 号及びその後の大雨により、関東・甲信そして東北地方など、7 つの県で合わせて 74 河川、140 か所で堤防決壊が発生するなど、全国でお亡くなりになられた方が 98 名、いまだ 3 名の方が行方不明となっており、現在も多くの被災者が避難所での生活を余儀なくされている現状にあります。

今回の災害により亡くなられた方々に対しまして、心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方にお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧・復興を遂げ、平穏な暮らしを取り戻すことができますようお祈り申し上げます。

台風 19 号については、本市でも甚大な被害を受けておりますので、本市の災害対応について申し上げます。台風 19 号は、10 月 12 日夜半から 13 日明け方にかけて最接近が予想されたことから、12 日正午に、ゼロ号配備として警戒本部を設置しました。その後、暴風や大雨警報、土砂災害警戒情報の発表が予想されたことから、早め早めに対応し、午後 2 時 30 分に、2 号配備に引き上げ、特別警戒本部を設置するとともに、「警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始情報」を発令し、日中の明るいうちに避難をしていただけるように対策を講じました。

その後、国土交通省北上川下流河川事務所長などからのホットラインによる情報をもとに、午後 6 時には 3 号配備に引き上げ、災害対策本部を設置するとともに、三ノ関・志戸田地区の一部と土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の方を対象に「警戒レベル 4 避難勧告」を発令し、対応にあたりました。

被害状況については、人的被害はなかったものの、11 月末日現在、住宅等の被害が 53 件、河川・道路で 65 件、農林施設で 297 件等、合計 446 件の被害が

発生しており、現在もなお、被害状況の把握に努めているところでございます。

なお、復旧作業に迅速に対応するため、本復旧経費については、11月1日付け補正予算、3億2千3百万円を専決処分させていただき、本定例会の補正予算にも所要額を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

また、農地農林施設の復旧事業については、現地調査結果に基づく事業費の精査により、さらなる事業費の追加を要することなどから、本定例会の会期中に補正予算を追加提出させていただきますので、重ねてよろしくお願いいたします。

被災された市民の皆様には、改めてお見舞いを申し上げますとともに、各種の税や保険料、医療機関での一部負担金を免除するなど、被災者の皆様に寄り添い、でき得る限りの支援を行ってまいります。

また、ご承知のとおり、県内各地においても甚大な被害を受けたところであり、本市といたしましても、災害支援要請を受け、大郷町に水道施設修繕のため、職員2名を2日間、丸森町に給水支援として職員2名を2日間、さらに、被災住民の健康調査のため、延べ10名の保健師を4日間派遣いたしました。

今後も引き続き、被災自治体の一日も早い復旧・復興の後押しとなるように、支援を行ってまいります。

なお、10月19日、20日に実施を予定しておりました「とみや国際スイーツ博覧会」については、開催に向け準備を進めておりましたが、台風19号による被害が甚大であり、災害復旧対応を最優先とする必要がありましたことから、熟考の結果、中止することを決断いたしました。判断にあたりましては、出展に向けて準備を進めていただいております、関係者の皆様のお顔や経過を思い浮かべながらの苦渋の決断でありました。

中止措置への対応といたしましては、各メディアや市ホームページ、そして新聞折込みにてお知らせするとともに、19日及び20日の両日は、できる限り多くの皆様に市内スイーツ店が準備した本市の特産品を使用したスイーツを購入していただけるよう、周知に努めたところであります。

なお、中止の措置によりまして、18日から大雨による「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始情報」の発令に対し、6か所の避難所を迅速に開設するなど、住民の生命・財産を守るための的確な対策を講じることができました。

ご理解・ご協力を賜りました各スイーツ店及び生産者の皆様には、この場をお

借りまして御礼申し上げます。

以上、台風 19 号による災害関連について、ご報告申し上げます。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の 4 つの基本方針と前期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致関連につきましては、11 月 14 日に、名古屋市で開催された「宮城県企業立地セミナー」に参加し、多くの企業関係者に直接、本市の魅力を PR してきたところです。

今後も引き続き、高屋敷西地区や成田 2 期北地区への企業立地に向け、トップセールスに努めてまいります。

また、高屋敷工業団地内に立地する「日本ファインセラミックス株式会社 富谷営業所」の第 2 工場及び第 3 工場の建設に伴い、11 月 18 日に「代表取締役社長 足立 茂（あだち しげる）様」をはじめ、日輝ホールディングス株式会社の「代表取締役社長 COO 石塚 忠（いしづか ただし）様」、日揮グローバル株式会社「代表取締役社長 村元 徹也（むらもと てつや）様」、日揮株式会社「代表取締役社長 山田 昇司（やまだ しょうじ）様」などが出席され、地鎮祭が行われました。工場の構造及び面積は、鉄骨造平屋建の 2、792 m²で、来年 6 月末の完成予定となっております。今後の富谷営業所における生産力増強を期待するところです。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

「富谷塾」については、多様な受講者ニーズや起業への熟度等に合わせ、10 月後半から 11 月後半にかけ、さまざまな内容で講座を 4 回実施し、これまで受講に至らなかった塾生の参加にもつながったところです。

また、11 月 9 日には、富谷塾生が主体的に開催しております、第 4 回「十官

夜市」が開催されました。当日は、市内外から多くの皆様が訪れ、しんまちの魅力に触れる機会につながるとともに、賑わいが創出されました。

なお、富谷塾生については、11月末日現在で、男性50名、女性73名の合計123名となっております。

(3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

東北農政局より8月30日に発表された、今年の稲作の作柄状況については、県内全域で「やや良」となっております。しかしながら、新みやぎ農協あさひな地区本部管内にあたる本市内のうるち米の買入状況は、11月8日現在、3千3百74トンとなり、昨年より229トン減少しております。

また、1等米比率も31.47%と、昨年に比べ大幅に低い出来型の状況となっております。

このことについては、出穂期以降の高温による実の入りが悪くなかったことなどが要因とされるところであります。

今後は、認定農業者や集落営農組織等への経営所得安定対策による収入減少影響緩和交付金、いわゆるナラシ対策による水田農業の安定経営に向けた支援等について、情報収集を行ってまいります。

また、農作物有害鳥獣対策については、イノシシ対策として物理柵を購入し、明石地区に、1.3キロメートル、石積地区に、7キロメートルを支給しており、2月中に設置を完了する予定となっております。引き続き、農作物の被害拡大防止に取り組んでまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく申し上げます。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

10月6日に開催した、富谷宿「街道まつり」については、天候が心配されたところでしたが、多くの皆様の想いが天に届き、朝までの雨が開祭式時には晴れわたり、家族連れなど多くの方々にご来場いただき、賑わいと活気の中で開催することができました。

今年度も「富谷市まちづくり産業交流プラザ」をメイン会場とし、しんまち通

りでは、まつりの見どころのひとつである「時代行列」が行われ、今年は100名を超える市民の皆様にご参加いただきました。お陰様で宿場町であった往時の歴史を実感していただけるまつりとなりました。

また、今年度は熊野神社例大祭との同日開催により、しんまち通りでの神輿渡御も行われ、まつりの賑わいにも繋がったところです。

関係者の皆様方のご理解とお力添えとともに、多くの議員の皆様にも多数ご出席をいただきました。改めて心から感謝申し上げます。

しんまち地区の活性化については、11月16日、17日の2日間に渡り、富谷しんまちアートイベントを開催しました。

地域の皆様の多大なるご協力のもと、写真家の浅田政志様が地域の皆様の生き生きとした表情を写真に収めた作品をしんまち地区の各所に展示するとともに、旧脇本陣の奥座敷、旧内ヶ崎醤油店の蔵を会場とした「しんまち問答」を行いました。当日は、しんまち地区の皆様や、しんまち地区出身の方、市内外からも多くの方に訪れていただき、大変有意義なイベントとなりました。

11月23日には、宮城学院女子大学教授 宮原育子（みやらはら いくこ）様を講師にお招きし、地域資源を活かしたまちづくりをテーマにした講演会を開催するなど、今後も、しんまちの活性化に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

また、(仮称)富谷宿観光交流ステーションの整備については、10月中旬から解体工事等に着手し、現在は、建物の新築・改修工事に取り組むなど、順調に進捗しています。引き続き、開宿400年記念事業として、来年10月のオープンに向けて取り組んでまいります。

(5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

多くの皆様から強いご要望のありました、深夜帯の宮城交通バスの運行については、10月1日から地下鉄泉中央駅を発車地点とする新富谷ガーデンシティ線と泉ヶ丘大富線の2路線において、平日23時32分発の実証運行が開始されました。運転手不足などから多くの地域で深夜帯の運行が減便される中、今回の措置は、本市のみの取組となっており、市民の方々からは、早速、大変ありがたいとの声が届いております。本市といたしましても、多くの皆様に利用していただき、来年4月以降も今回の取組が継続され、さらには他路線へも拡大される

よう、引き続き、周知啓発に取り組んでまいります。

また、新公共交通システム推進事業については、国土交通省の街路交通調査費補助金の交付決定を受け、「富谷市都市地域総合交通戦略・基本計画」の策定に着手しており、まちづくりと一体的に戦略的な交通施策を展開してまいります。

(6) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

道路改良事業については、社会資本整備総合交付金を活用して進めている「市道穀田三ノ関線道路改良事業」について、昨年度からの繰越工事に続いて、今年度分の工事にも着手いたしましたので、さらなる事業の推進を図ってまいります。

(7) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

仙塩広域都市計画 第7回定期見直しにおいて、工業系の保留地区に位置づけられた「成田南地区」については、10月に「都市計画変更案の説明会」を開催いたしました。来年の3月に県の都市計画審議会が開催され、5月には市街化区域に編入される予定となっています。

(8) 自然環境・公園緑地関連施策について

次に、自然環境・公園緑地関連施策について申し上げます。

大亀山森林公園については、展望台の現況調査業務が完了しました。この展望台は、平成元年の「ふるさと創生事業」の交付金を活用して整備し、建設から30年になろうとしています。今後も皆様に安全に利用していただくためには、大規模な改修と多額の修繕経費が必要になることが明らかとなったことから、展望台の撤去及び跡地の活用方法等について検討してまいります。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

東向陽台幼稚園民営化に関する進捗状況については、今年10月に公募型プロポーザルを実施し、審査の結果、事業者を「学校法人 杜栄（とえい）学園」に決定いたしました。

今後は、民営化スケジュールに基づき、令和4年度の開園を目途に、事業者と協議を進めながら鋭意取り組むとともに、進捗状況等についても、適時議会の皆様へご報告いたします。

（2）教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

今年度で3年目となる中学生海外研修派遣事業については、11月8日に報告会を実施いたしました。報告会は、2回に渡る事前研修を経て、4日間の研修を体験した生徒の大きな成長が実感できるもので、生徒からは「人とのつながりを感じた4日間だった」、「自分自身の変化に気付いた」などの感想がありました。今後この貴重な体験を通して得た多くの学びや気づきを、他の生徒へ伝えるなど、参加した生徒が国際教育推進のリーダーとして活躍することを期待するとともに、参加した生徒たちが力強く成長していくことを願っております。

今後もESD(持続可能な開発のための教育)の一貫として、本事業を通して国際理解を深め、グローバル化する社会の中で、国内外で活躍する人材を育成していくために継続して取り組んでまいります。

次に、学校給食センターの調理等業務委託について申し上げます。

はじめに、業務委託に関する予算について、議会への上程が遅れましたことについて、お詫びを申し上げます。

現在の経過については、先の議員全員協議会でお示ししたとおり、優先交渉者を決定するためのプロポーザル審査を実施し、その後、職員体制や備品・消耗品などの経費を協議、精査し、委託契約締結に向けて準備を進めております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

（3）生涯学習関連施策について

図書館整備関連については、令和4年度の開館に向けて、鋭意準備を進めております。特に外部資金調達の新たな取組として実施いたしました「ガバメント・クラウドファンディング」については、8月9日から11月7日までの90

日間で、4百7万9千8百円のご寄附を頂戴いたしました。

市民の皆様をはじめ、全国各地から寄せられた御厚意に感謝するとともに、本市の図書館建設に対する期待の高さを改めて感じたところでございます。

今後は、通常のふるさと納税に加え、来年度から制度内容が拡充される見込の「企業版ふるさと納税」の活用に向けて、認定に必要な手続を進めるとともに、効果的な関連企業へのPR活動を積極的に進め、外部資金目標額達成へ向けて取組を加速してまいります。

(4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

来年度は、「宿場町富谷宿開宿400年」となる記念の年を迎えるとともに、世界的なスポーツイベントである「2020東京オリンピック・パラリンピック」も開催される年となります。

本市に対する注目度と併せ、スポーツ施策に対する機運が高まる中、町民体育祭に代わる、新たな市民参加型スポーツ祭典として、来年度、マラソン大会を開催したいと考えております。

開催にあたっては、折しも、大和町が町制施行65周年の記念となる年となることから、両市町の記念の年、そして、東京オリパラ開催記念として、大和町との共同開催により、両市町をまたぐコースを設定し、「(仮称)富谷・大和七ツ森ハーフマラソン大会」として実施する予定です。

開催時期については、来年11月を予定しており、開催に向けた警察関係との協議に必要な準備経費として、本定例会の補正予算に計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

なお、詳細につきましては、今後、適時議会へご説明させていただきます。

(5) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

残念ながら、2年連続しての待機児童ゼロは達成できませんでしたが、来年度の待機児童ゼロの達成を目指し、来年4月開所に向けた小規模保育所運営事業者を11月19日に、2者選定いたしました。今後、事業者と連携を密にし、年度内の完成及び来年4月の運営開始に向けて、鋭意努めてまいります。

次に、子どもにやさしいまちづくり関連については、11月14日に東京で開催

された「日本型子どもにやさしいまちモデル検証作業報告フォーラム」において、全国 5 自治体のモデル検証作業自治体のひとつとして、本市のこれまでの取組について、中間報告を行いました。

また、今年度 3 回目となる「とみやわくわく市民会議」については、「世界子どもの日」に合わせ、11 月 20 日に市内 8 小学校の 6 年生 16 名の児童に参加いただき、「とみやわくわく子ども会議」として実施いたしました。「子どもにやさしいまちづくりについて～子どもにやさしい地域づくり～」をテーマに、小学生ならではの視点で新鮮なアイデアや意見をいただきました。

引き続き、子どもが主体的に考え、参画できるまちを目指すとともに、有効的な検証作業を実施してまいります。

4. 「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

地域と施設の支え合いモデル事業「とみサポ こころね」が、9 月から市内 6 か所の高齢者施設で順に開始され、現在、定期的な活動を展開しております。

事業が始まって 3 か月を経過したところであり、今後も、その都度課題を確認しながらより良い支援が図れるよう取り組んでまいります。

(2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

市の健康課題である高血圧や高血糖の予防を推進するため、10 月 31 日に高血圧セミナーを開催したところ、定員を上回る 111 名の市民の皆さんに受講いただきました。セミナーでは、野菜に含まれるカリウムの摂取が高血圧予防に効果があることから、参加者全員に黒川地域で収穫された野菜を配るなど、野菜摂取と地元の野菜の PR にも取り組んだところです。

また、11 月 16 日には、産官学医連携により、イオンモール富谷を会場に「知ってお得な健康情報&塩エコキャンペーン」を開催し、子育て世代から高齢者の方々まで、広く市民の皆様へ健康づくりの重要性を訴えてまいりました。引き続き

き、市民の皆さんの健康づくりを推進してまいります。

(3) 障がい者支援関連施策について

次に、障がい者関連施策について申し上げます。

障がい者相談支援業務については、現在、週3日、地域福祉課内に窓口を設置しているところですが、相談件数の増加やニーズの多様化等に対応するため、今後は相談窓口を週5日に増やし、相談支援の充実を図ってまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に債務負担行為を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

(4) 地域コミュニティ関連施策について

次に、地域コミュニティ関連施策について申し上げます。

民生委員児童委員及び主任児童委員については、3年に1度の一斉改選期を迎え、昨日、委嘱状の交付式を執り行いました。今回は、新しい町内会の発足及び高齢化が進む地域の迅速な対応を図るため、定員を4名増員の71名とし、新任委員20名を含む69名体制でスタートいたしました。これからも「地域における身近な相談者」として、大いに活躍されることを期待しております。

5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防災・救急・消防関連施策について

防災関連については、現在、富谷市地域防災計画の改訂を今年度中に完了すべく、パブリックコメントにより提出されたご意見等を十分に考慮しながら、作業を進めているところです。

消防関連については、11月9日から15日までの7日間、全国一斉に「秋の全国火災予防運動」が展開され、本市消防団及び婦人防火クラブにより、地域における火災予防啓発活動に取り組んでいただいたところです。

また、宮城県とともに実施した「通学路内の危険ブロック塀調査」において、危険度が大きいと判断されたブロック塀のうち、撤去などの対策が講じられていなかった2か所についても、撤去の方向でご協力いただけることとなりました。

たので、ご報告いたします。

(2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全関連施策について申し上げます。

交通安全関連については、かねてより要望のありました、明石台公園東側交差点の信号機について、信号サイクルが12月上旬頃から変更されることとなりました。

明石台五丁目側からの車両と明石台六丁目側からの車両が同時通行しない3現示式となることから、今後、当該地域の安全対策につながるものと考えております。

なお、大和警察署の依頼により、すでに「広報とみや」や周辺地区へのチラシによる周知を実施しております。

今後も引き続き、交通安全意識の普及・啓発を図りながら、交通事故防止に向けた取組を推進してまいりますので、皆様方のさらなるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(3) 人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

男女共同参画の推進については、宮城県主催の「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成研修会を、12月17日に本市との共催により市役所を会場に実施いたします。本事業の開催を通して、本市における男女共同参画及び女性活躍推進の一層の普及啓発に努めてまいります。

(4) 省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

11月5日、自治体、大学、研究機関、企業が参画するプラチナ構想ネットワークにおいて、「第7回プラチナ大賞最終審査発表会・表彰式」が開催されました。

本市が現在進めている「富谷市低炭素水素プロジェクト ～とみやから始まる未来の暮らし～」が最終審査にノミネートされ、私自らプレゼンテーションを行い、審査の結果、「優秀賞 新しい時代のインフラ賞」を受賞し、併せて、プラチナシティの認定を受けました。

プラチナ大賞は、未来のあるべき社会像として描く「プラチナ社会」のモデルを示すことを目的に創設された大変名誉ある賞です。

本市といたしましても、今回の受賞を励みとして、現在取り組んでいる低炭素水素技術実証事業を共同事業者とともにさらに推し進め、日本の中での水素先進都市として、低炭素なまちづくりを牽引していきたいと考えております。

なお、今月 13 日、14 日には成田公民館を会場に、「未来・水素フォーラム in 富谷」を開催いたします。

13 日開催の「超異分野学会」では、研究者、ベンチャー、企業など異なる立場での視点やアイデアを織り交ぜながら様々なセッションを行い、最終的には「富谷から全国につながる次の一歩がここから始まる」を命題に、まず一歩目の取組として、どのようなことができるのかを描いてまいります。

14 日開催の「サイエンスキャッスル」では、地元の富谷高校も参加し、次世代を担う中高生による研究発表を中心に、最先端の技術や研究に触れ、市民との交流を通して、次の研究テーマや仲間を見つけられる場、地域ぐるみでエネルギー社会を考える場としてまいります。

また、同日午後 4 時から、プラチナ構想ネットワーク会長であり、東京大学第 28 代総長である小宮山宏（こみやま ひろし）様に、特別講演をいただくこととなっております。

是非、議員の皆様におかれましても、ご聴講いただきますようご案内申し上げます。

(5) 住民参加・協働関連施策について

次に、住民参加・協働関連施策について申し上げます。

「とみやわくわく市民会議」については、今年度 4 回目として、12 月 21 日に「とみやの農業について～市民交流と地産地消～」をテーマに開催いたします。

市民協働の推進については、これまでのセミナー等で市民の皆様からいただいた、ご意見ご提言などを来年度に策定を予定している「まちづくりの基本となるルール」作りの参考とさせていただき、今後、具体的検討及び作業を進めてまいります。

町内会館の整備については、杜乃橋二丁目会館新築工事が当初の予定どおり、11 月末に完了いたしました。

また、(仮称)西成田会館の設計及び地質調査業務も順調に進んでおり、来年中の本体工事完成を目指して、本定例会の補正予算に建設に係る関連経費を計上

しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

(6) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

非正規労働者の格差是正を図る「同一労働同一賃金」を背景として、地方公務員の臨時・非常勤職員の適正な任用を目的とした地方公務員法及び地方自治法の一部改正が来年4月1日から施行され、新たに「会計年度任用職員制度」が運用されることとなります。本市では、これまでに他自治体との意見交換を重ねるとともに、庁内の情報共有を図り、パート職員等への説明会を開催するなど、鋭意準備を進めてまいりました。

つきましては、関連条例の制定について提案しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

最後に、先の9月議会でもお知らせいたしました、去る11月5日に、簡易郵便局を含めると市内7局目となる成田郵便局が、ヤマザワ富谷成田店敷地内に開局いたしました。

振り返れば、平成22年8月に郵便局株式会社東北支社長に対して、成田地区5、878名の方々の署名とともに、要望書を提出し、以来、継続的に要望活動を行ってまいりました。

この度、皆様の願いが9年越しに実を結ぶこととなり、改めて、これまでの地域の皆様のお取組に感謝申し上げます。今後、地域に密着した郵便局として、多くの皆様に利用されるよう期待しております。

以上、令和元年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたりまして、私からの挨拶とさせていただきます。